

救急だより

ピーポ



編集・発行 / さつま町消防本部

〒895-1816 さつま町時吉366 Tel 52-0119 Fax 53-0119

Web <http://119.satsuma-net.jp/>

E-mail shobo@satsuma-net.jp

発行 平成29年9月

全国版救急受診アプリ

Q助

きゅーすけ

誕生!!



寝ているようだが、叩いても起きない!



包丁で手を切って、痛いし血も出てる…。

あなたは、**突然の病気**や**ケガ**をしたとき
どうしたらいいのか、迷ったり悩んだことはありませんか?

このようなときに、緊急度を素早く判定して、病院受診の必要性や救急車を呼ぶ目安に利用してもらうため、総務省消防庁では **全国版救急受診アプリ『Q助 (きゅーすけ)』** を作成しました。

◎ 操作は簡単! 画面上の項目(年代や症状など)のうち、該当するものを選択するだけです!

全国版救急受診ガイド Q助	年代を選ぶ	症状選択 (大人)	結果
以下の症状で、当てはまるものはありますか。 呼吸をしていない。息がない。 脈がない。心臓が止まっている。 水没している。洗んでいる。 冷たくなっている。 どれにもあてはまらない。	子どもか大人が選んでください。 大人 (16歳以上) 子ども	当てはまるものを選んでください。 鼻のけが・鼻血 (大人・子ども) 口の中や歯の問題 (大人・子ども) 手や腕の問題 (大人・子ども) 足 (太もものつけ根から足首) の問題 (大人・子ども) 足首から先の 咬まれた・刺	緊急度はありませんが医療機関を受診しましょう 引き続き、注意して様子みてください できるだけ早めに医療機関を受診しましょう

① 緊急度の高い症状選択

② 年代選択

③ 詳細症状選択

④ 結果画面

最終的な結果により、救急車の要請や病院受診、自宅での療養などアドバイスをしてくれます。また、119番通報や医療機関の検索、受診手段の検索(全国タクシーガイドへのリンク)も行うことができます。

みなさんも参考にしてみてくださいはいかがですか?!

※ 救急車の要請や利用を制限するものではありません。救急車が必要と判断したら、119番通報してください!

パソコンやスマートフォンを利用されていない方は、消防署(52-0119)へお問い合わせください。

『Q助』は、インターネット(web)サイトのほか、スマートフォンアプリでも使用可能です。

● インターネット検索はこちら

総務省消防庁「Q助」案内サイト
https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html



● アプリ検索はこちら

スマートフォン用アプリ



or



Q助



Q助





こんなときは どうするの?!

シリーズ 「スポーツ・実りの秋」編

9月に入り、季節は夏から秋へと徐々に移り変わり、運動会や各種スポーツで汗を流したり、農作物の収穫作業といった『スポーツの秋・実りの秋』を迎えます。運動会や収穫シーズンになると、ケガや熱中症などが多くみられます。ここでは、予防策や応急手当についてご紹介します。



打撲・ねんざ

○ 応急処置の基本として『**RICE (ライス)**』をおぼえておきましょう!!

Rest (安静) ……患部は動かさず、安静にする。

Ice (冷却) ……炎症を抑え、痛みを和らげるため、患部を中心に氷や冷却剤などで冷やす。

Compression (圧迫) ……腫れを抑えるため、包帯やテーピングを利用して圧迫固定する。

Elevation (挙上) ……患部を心臓より高く挙げ、安静を保つ。

止血

○ 出血している部位に、清潔なタオルやガーゼなどをあてて、直接圧迫します。感染を防ぐため、血液に直接接触することがないように処置を行う場合は「レジ袋やゴム手袋」などで自分の手を保護しましょう!

レジ袋や
ゴム手袋など

強く圧迫する!!



熱中症

○ 水分や塩分の補給を行い、こまめに休憩をとりましょう!!

・ めまいやふらふら感、吐気やけいれんなど、様々な症状を引き起こします。

意識がもうろうとしたり、自分で水分が摂れないような場合は、救急車を要請しましょう!!

救急車の出動にはサイレンが必要です!



救急車の要請を受ける際、「サイレンを鳴らさないで…」という言葉をよく耳にします。

おそらく「ご近所の方々の迷惑になるから…」や「噂になったり、大げさと言われることが恥ずかしい…」といったことが原因と思われる。

しかしながら、救急車や消防車などの緊急自動車は『緊急の用務のため運転するときは、

サイレンを鳴らし、かつ赤色の警告灯をつけなければならない』と法律で定められています。

つまり、サイレンを鳴らさない救急車として出動することができないのです。

いろいろな事情はあるとは思いますが、サイレンを鳴らしての救急出動にご理解をお願いします。



サイレンを
鳴らさないで
来て下さい!



救急の日・救急医療週間

9月9日は「救急の日」です。

また、3日から9日までの1週間は

『救急医療週間』です。

救急車の正しい利用法や身近にできる
応急手当について考えてみましょう。

救急医療町民講座

日時：9月9日(土) 14時00分から

場所：宮之城ひまわり館

内容：救急に関する講演

救急講習 (AED 取扱いなど)

どなたでも
ご参加いただけます